

フィデリティ世界バリュー株式ファンド / フィデリティ・世界割安成長株投信のご紹介 ～割安かつ利益が成長する企業への投資で景気サイクルを乗り越える～



大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本STO協会

フィデリティ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号
加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

流行に左右されず、市場が気づいていない 隠れた成長企業に割安な株価で投資

ファンドの特色

- 1 30年を超える優れた運用実績*を日本へ
- 2 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- 3 フィデリティが世界に展開する企業調査

*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund (フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

テンバガーとは株価が10倍になると期待される銘柄のことです。

元来は野球1試合で10塁打をあげることを意味する言葉で、フィデリティのポートフォリオ・マネージャーであるピーター・リンチが使い始めたと言われています。

継承される“テンバガー・ハンター”の系譜

私の辞書によれば、ティリングハストは、歴史を通じて最も偉大かつ成功したストックピッカーの一人である。

ピーター・リンチ

「フィデリティ・マゼラン・ファンド」を1977年から13年間運用し、約28倍という驚異的な運用実績を残し、元祖「テンバガー・ハンター」と呼ばれる。元来1試合で10塁打をあげる強打者を表現する野球用語であった「テンバガー」を、「10倍株」を表現する言葉として、ピーター・リンチが使い始めたと言われている。

テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしたがって投資をしてはならない。
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。割安な銘柄に投資をしなければならない。

ジョエル・ティリングハスト

TENBAGGER HUNTER

当ファンドの
運用担当チーム

共同運用主担当者



ジョエル・ティリングハスト
(ピーター・リンチから薫陶)

共同運用担当者



サリム・ハート
(運用調査経験:2007年～)



モーガン・ベック
(運用調査経験:2003年～)



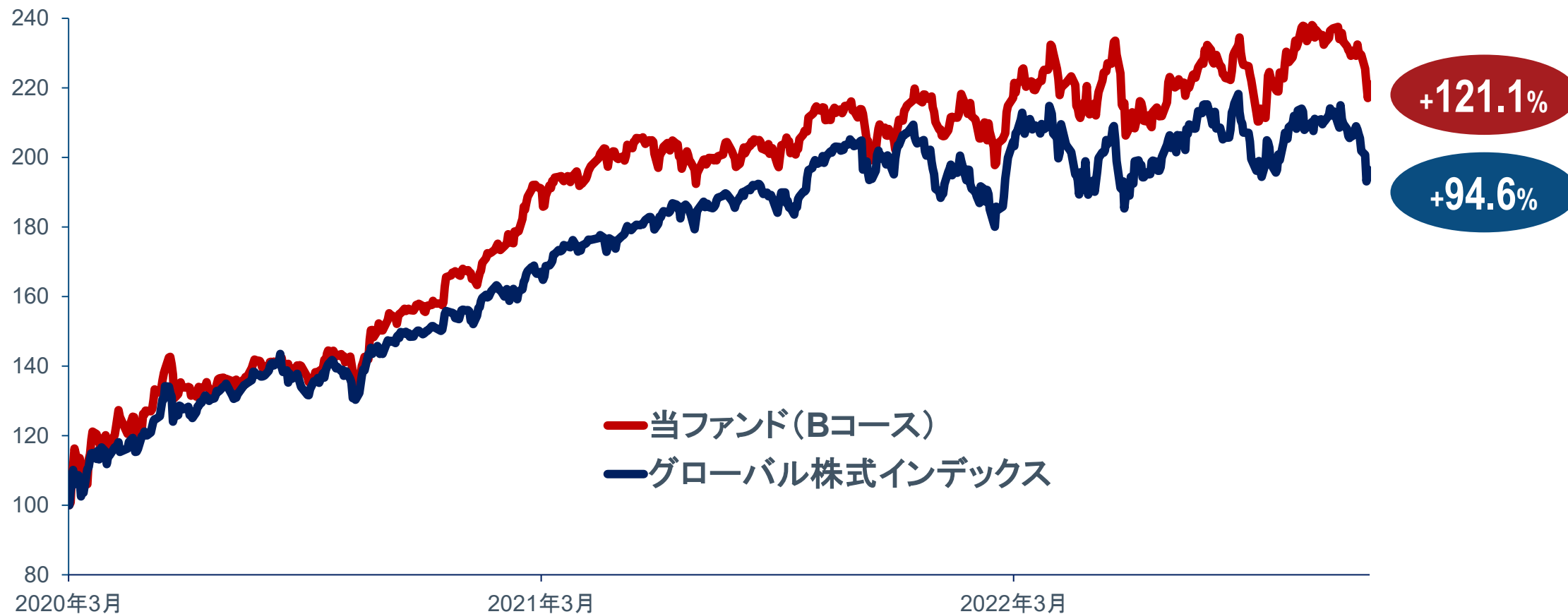
サム・シャモビッツ
(運用調査経験:2002年～)

(注) 2022年8月末時点。

2 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

コロナ禍の難局でも好調な設定来のパフォーマンス

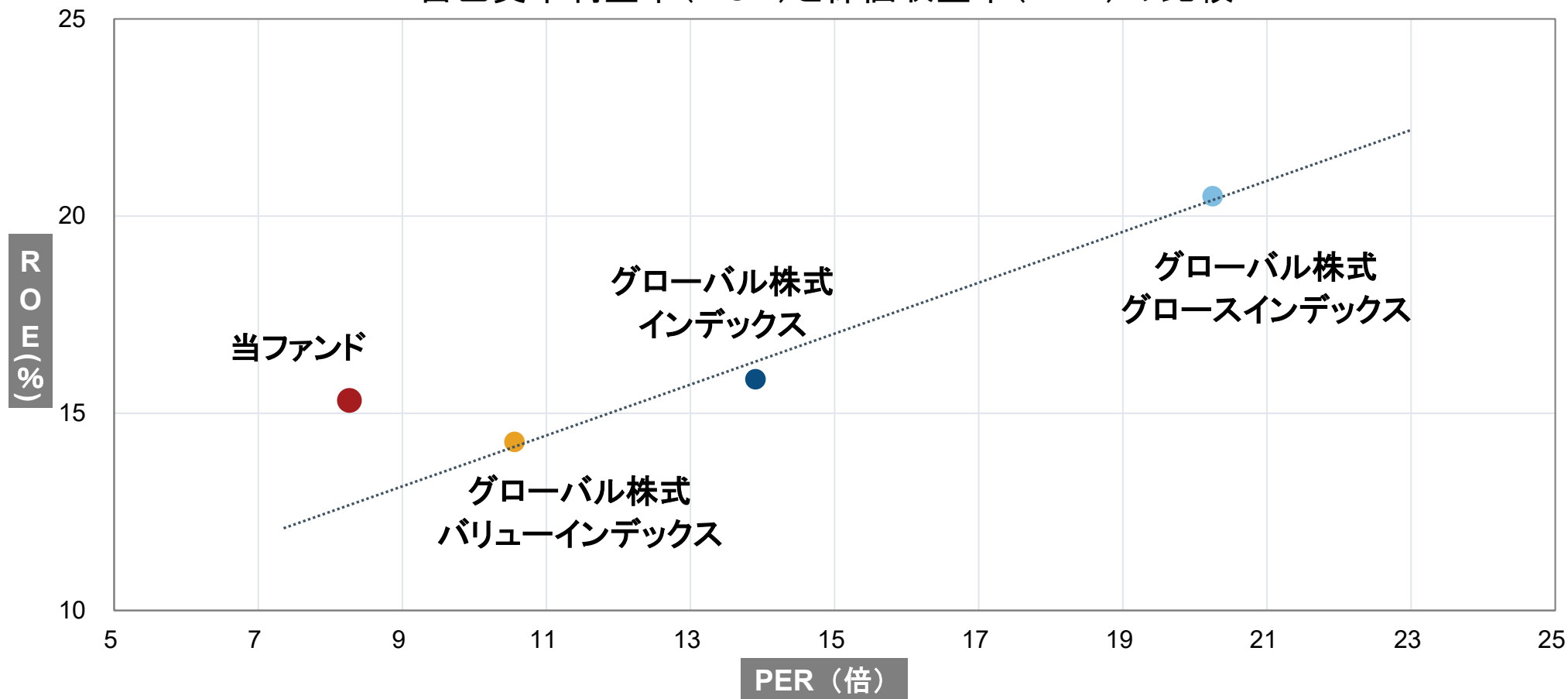
当ファンドとグローバル株式インデックスのパフォーマンス



(注)フィデリティ投信作成。当ファンドのパフォーマンスは収益分配金を再投資した実績評価額。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。グローバル株式インデックスはMSCIワールド・インデックス。期間は2020年3月23日(設定日)~2022年12月22日。グローバル株式インデックスは設定日の前営業日から計算。期初を100として指数化。円ベース。

割安性と収益性を両立するポートフォリオ

自己資本利益率(ROE)と株価収益率(PER)の比較



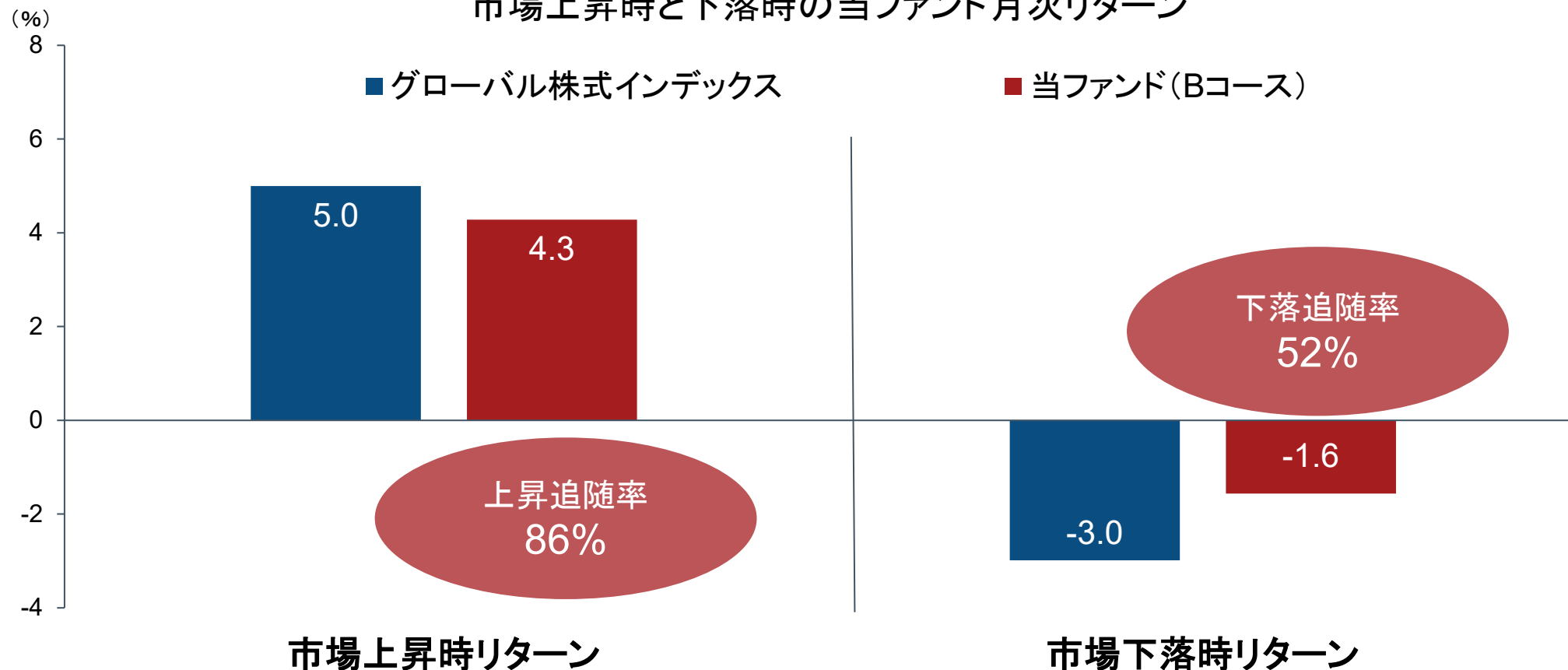
(注)FMR Co、FactSet、Refinitivよりフィデリティ投信作成。2022年9月末時点。当ファンドはマザーファンドベース。グローバル株式インデックスはMSCIワールド・インデックス。グローバル株式グロースインデックスはMSCIワールド・グロース・インデックス。グローバル株式バリューインデックスはMSCIワールド・バリュー・インデックス。ROE、及びPERはIBES1年先予想ベース。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

4 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

優れた下値抵抗力

市場上昇時と下落時の当ファンド月次リターン



(注)フィデリティ投信作成。当ファンドの月次リターンは収益分配金を再投資した実績評価額。購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。グローバル株式インデックスはMSCIワールド・インデックス。円ベース。期間は2020年4月から2022年9月までの月次データ。MSCIワールド・インデックスの月次リターン(円ベース)により上昇時と下落時を分類。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

組入上位銘柄 (2022年8月末時点)

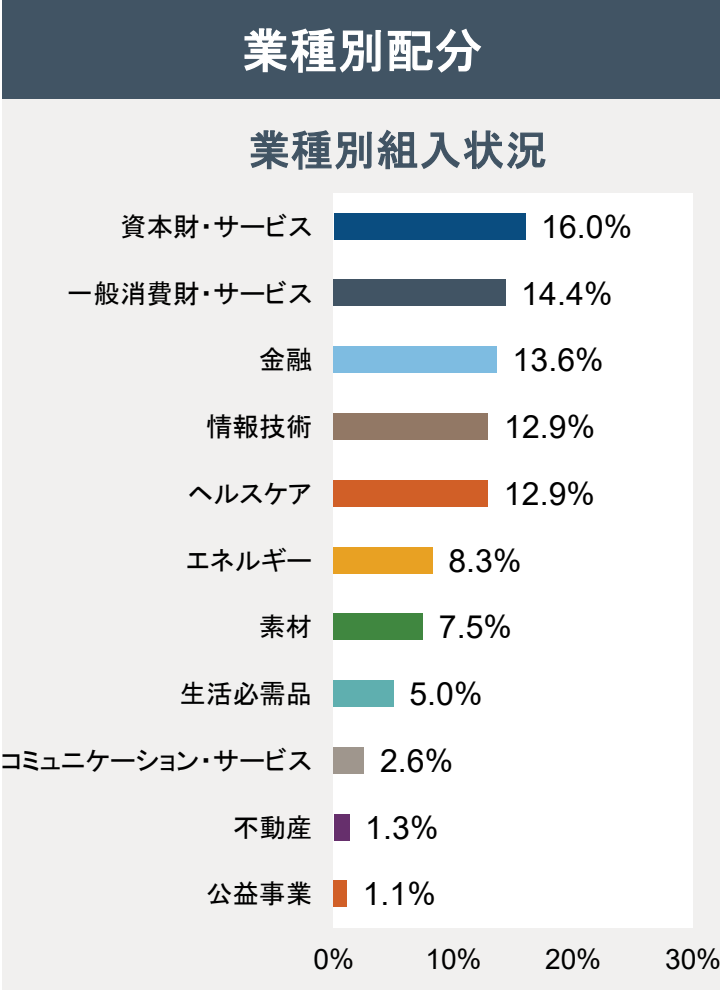
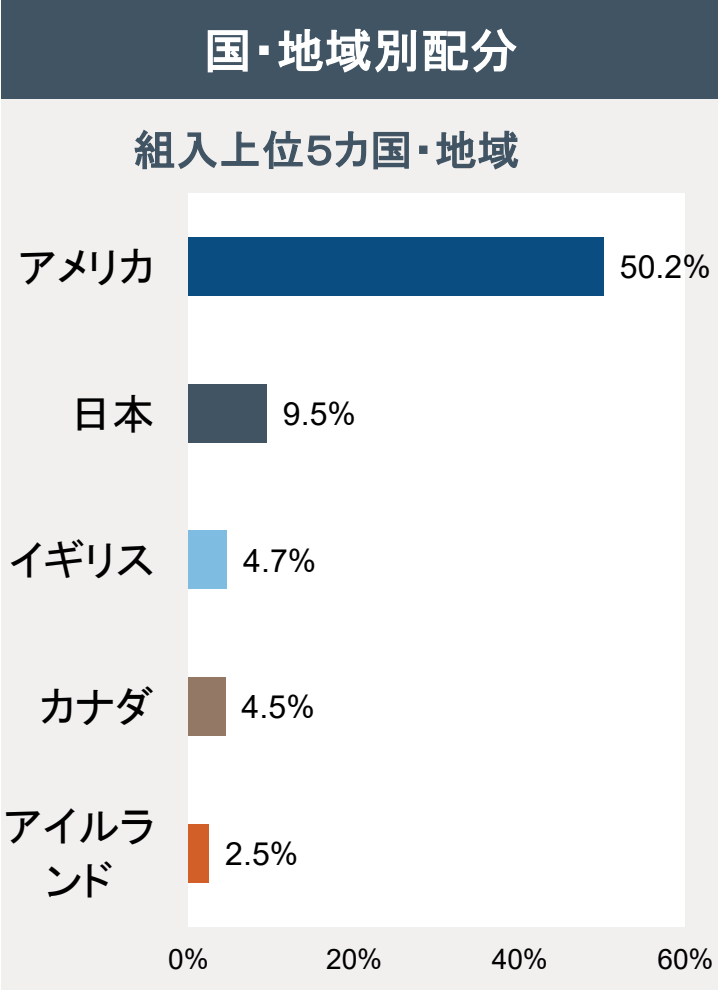
銘柄	国・地域	業種	特徴	比率
シグナ	アメリカ	ヘルスケア	医療保険をはじめ、医療サービスを提供。全米に幅広くネットワークを持つほか、世界的に事業を展開。	1.7%
ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	個人向けや中小企業向けの金融サービスを提供。全米屈指の支店網を持ち、取引基盤が強固。	1.4%
シーゲート・テクノロジー・ホールディングス	アイルランド	情報技術	ハードディスク・ドライブを製造。大容量データ保存に適したストレージとして需要が増加傾向。	1.4%
ジェンパクト	バミューダ (英領)	情報技術	経理や購買など、事業活動のデジタル化サービスを提供。ゼネラルエレクトリックから独立して設立。	1.4%
ユニバー・ソリューションズ	アメリカ	資本財・サービス	医薬品や食品、美容、工業、航空宇宙など、幅広い分野向けに多様な化学製品や特殊な原材料(樹脂や酸など)を提供。	1.3%
LPLファイナンシャル・ホールディングス	アメリカ	金融	ファイナンシャル・アドバイザー向けに投資顧問サービスのプラットフォームを提供。	1.3%
エレバンスヘルス	アメリカ	ヘルスケア	米国で医療保険を提供。医師や病院の広範なネットワークや的確な健康管理データ分析による顧客サービスを背景に安定的な事業構造。	1.3%
アムジェン	アメリカ	ヘルスケア	遺伝子組み換えなどの最先端の技術を持つバイオテクノロジーの製薬会社。多様な領域で新薬の高い開発力。	1.3%
ディスクバー・ファイナンシャル・サービスズ	アメリカ	金融	個人向けを中心に金融サービスを提供。中間層をターゲットとして各種ローンを伸ばしてきた実績。	1.3%
ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	米国の医療保険サービス大手。優れた経営陣の下、規模のメリットを活かし、的確なデータ分析に基づいて最適なサービスを提供。	1.3%

組入銘柄数: 430

(注)フィデリティ投信作成。2022年8月末時点。マザーファンド・ベース。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。対純資産総額比率。

※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

国・地域、業種配分とポートフォリオ特性



ポートフォリオ特性

	ファンド	グローバル株式 (参考指数)
予想株価 収益率(倍)	9.1	15.3
株価純資産 倍率(倍)	1.6	2.8
1銘柄当たり 平均時価総額 (10億米ドル)	23.9	374.7

時価総額規模別の 組み入れ	ファンド(%)	グローバル 株式(%)
10兆円以上	9.7	52.8
1兆円以上 10兆円未満	29.4	43.9
1,000億円以上 1兆円未満	50.0	2.6
1,000億円未満	10.9	0.7
合計	100.0	100.0

(注)フィデリティ投信作成。2022年8月末時点。ただし、時価総額規模別の組み入れのみ2022年6月末時点。マザーファンド・ベース。国・地域別配分および業種別配分は対純資産総額比率。時価総額規模別の組み入れは対投資資産比率。配分比率はそれぞれの項目を四捨五入して表示。国・地域は発行国・地域を表示。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。グローバル株式はMSCIワールド・インデックス。

フィデリティ世界バリュー株式ファンド



1

40年以上の優れた実績

で米国を代表するバリュー・ファンドが日本に初上陸。(注)2022年7月末時点。

2

**アクティブ運用を中心に
世界有数の運用資産残高を誇るフィデリティ**
にて、長年受け継がれてきた運用哲学を一貫して実践。

3

バリュー相場における優れた実績。

40年以上の優れた実績で米国を代表するバリュー・ファンド

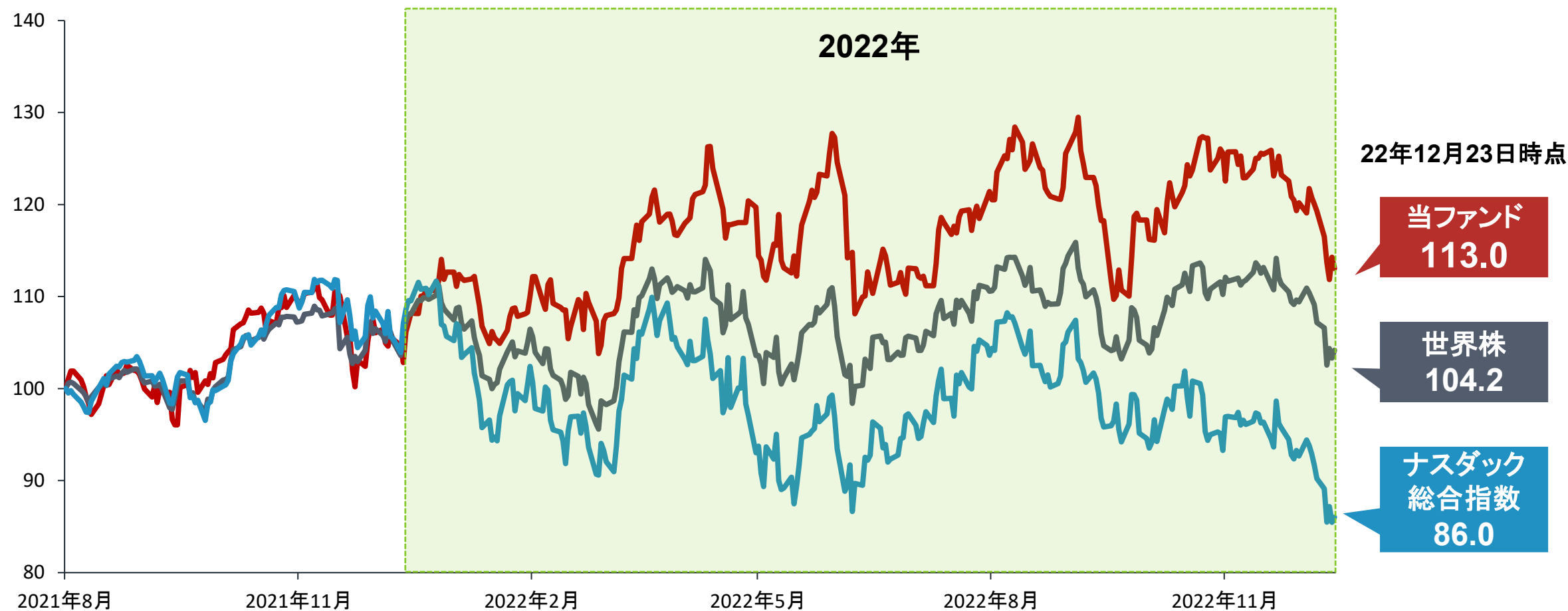
参考ファンド設定来パフォーマンス



当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」(以下、「参考ファンド」という場合があります)の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

世界株、ナスダック総合指数を上回るファンド実績

当ファンド設定来(21年8月10日)、市場指数の値動き

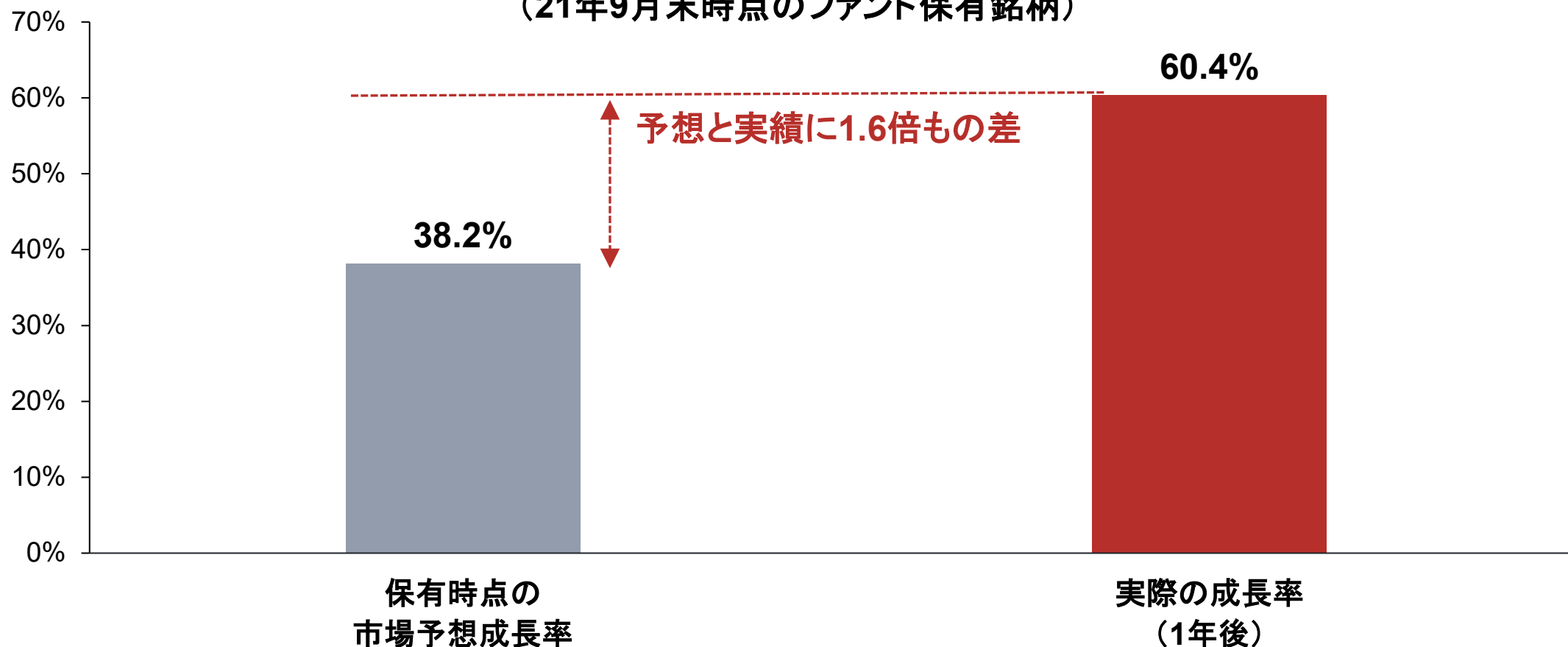


(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。期初を100として指数化。期間は2021年8月10日(設定日)~2022年12月23日。日次データ。円ベース。トータルリターン。
世界株はMSCIワールド。当ファンド(Bコース)の実績は基準価額を使用。基準価額は運用管理費用控除後。指数はファンド設定日前日を100として計算。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

割安かつ、市場予想を上回る利益成長を遂げる銘柄を選別

市場が予想する利益成長率と、1年後の実際の利益成長率
(21年9月末時点のファンド保有銘柄)

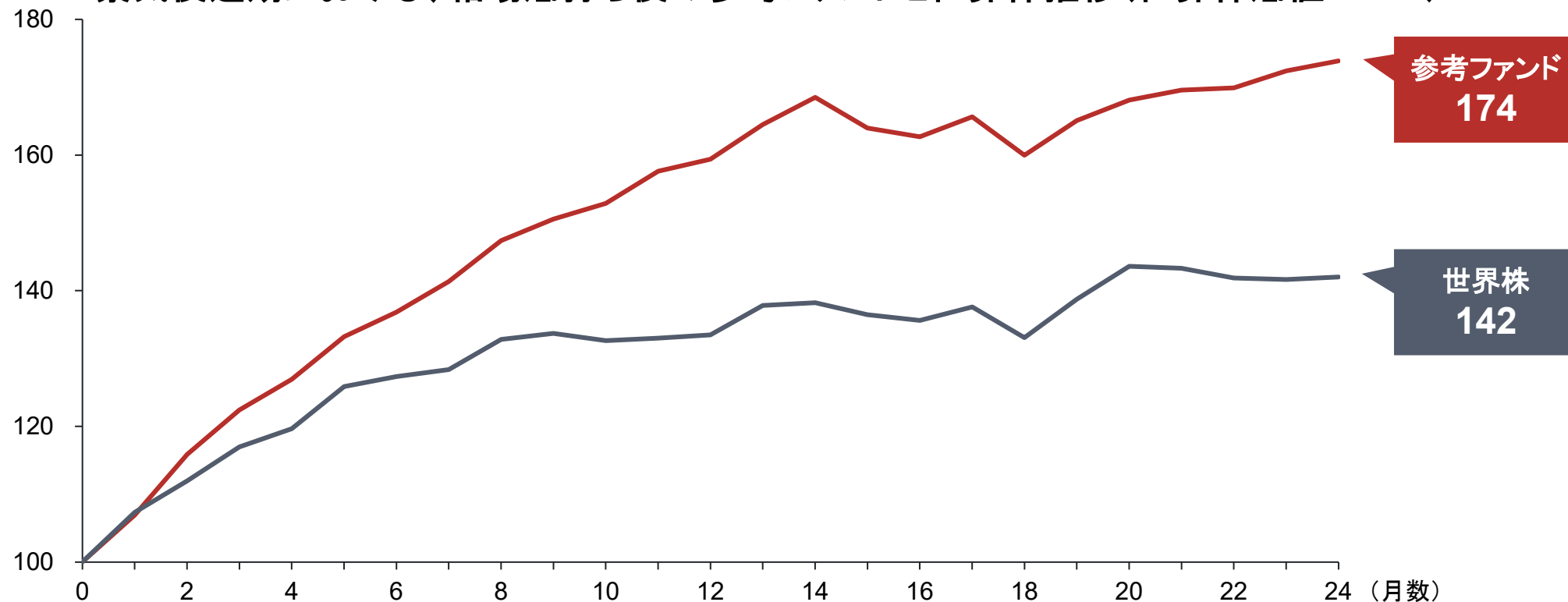


(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。保有時点は2021年9月末、実績は2022年9月末時点。マザーファンドが2021年9月末時点で保有する銘柄のEPS(赤字企業を除く)成長率を加重平均したもの。構成銘柄のうち約90%以上の銘柄を算出対象。12カ月先予想と12カ月実績のEPSを比較。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

相場底打ち後に力強く上昇してきた”VoV”(参考ファンド)

景気後退期における、相場底打ち後の参考ファンドと世界株推移(世界株底値=100)



(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。景気後退期は、全米経済研究所(NBER)が定める1979年以降の景気後退期間を基に算出。世界株はMSCIワールド。参考ファンドはフィー控除後。景気後退期の世界株の底値を100として指数化。米ドルベース。トータルリターン。

参考ファンドとは、当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」を指します。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

組入上位銘柄 (2022年6月末時点)

銘柄	国・地域	業種	特徴	比率
アンテロ・リソーシズ	アメリカ	エネルギー	米国のアパラチア盆地を中心に石油やガスの探索・開発・生産を手掛ける。液化天然ガスは全米2位の生産規模を誇る。	1.7%
エジソン・インターナショナル	アメリカ	公益事業	米国カリフォルニア州をはじめ、世界各地で電力事業を展開。蓄電池やガスタービンによるハイブリッド発電システムや太陽光システムなどを開発。	1.4%
キューブスマート	アメリカ	不動産	米国各州でトランクルーム型の小型倉庫施設の所有、運営などを手がける不動産投資信託。	1.4%
エンタジー	アメリカ	公益事業	発電、電力小売り事業等を展開するエネルギー企業。米国ルイジアナ州、ミシシッピ州、テキサス州などの顧客に電力を販売。	1.2%
A E S	アメリカ	公益事業	米国をはじめ、中南米やアフリカなどで発電と配電事業を展開。再生可能エネルギーにも注力。	1.1%
セノバス・エナジー	カナダ	エネルギー	カナダを中心に、米国、アジア太平洋地域で原油・天然ガスの生産・精製事業を手がける。	1.1%
トラベラーズ	アメリカ	保険	米国の大手損害保険会社。個人向けの住宅保険、自動車保険、法人向けの各種事業保険を展開。	1.0%
M & T バンク	アメリカ	銀行	米国ニューヨーク州を拠点とする銀行持株会社。個人・法人向けに貸付、住宅ローン、リースなど金融サービスを展開。	1.0%
ベントス	アメリカ	不動産	米国などで主に高齢者向け住宅を保有する不動産投資信託。	1.0%
ヘス	アメリカ	エネルギー	米国に拠点を置き、グローバルに原油・天然ガスの探査と生産を行う大手エネルギー企業。	1.0%

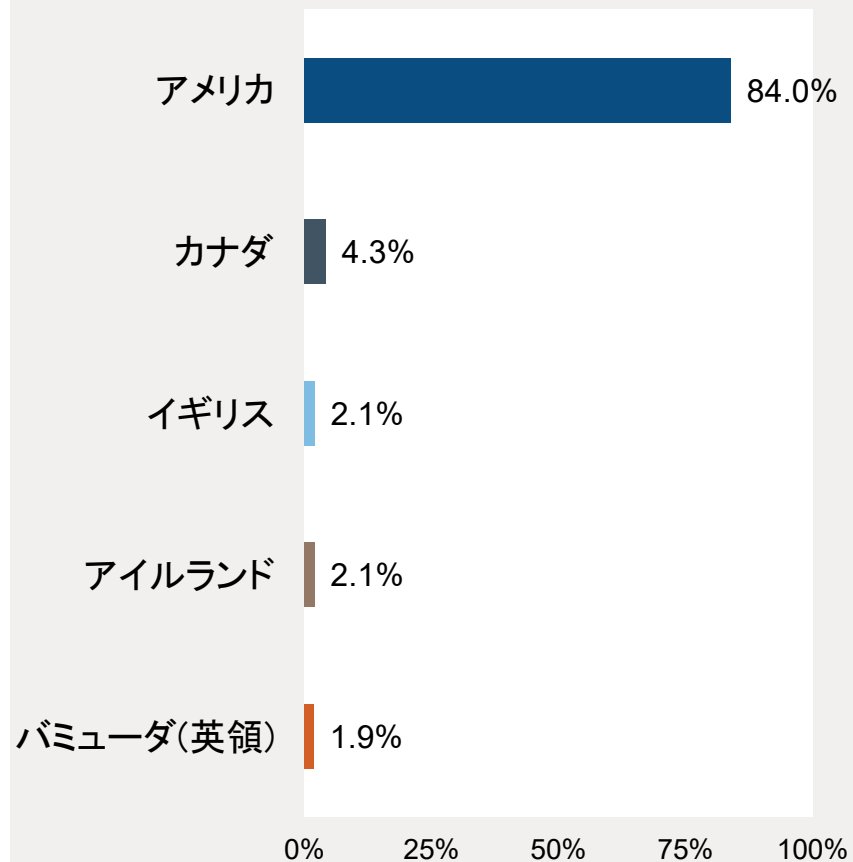
組入銘柄数: 188

(注)フィデリティ投信作成。2022年6月末時点。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。

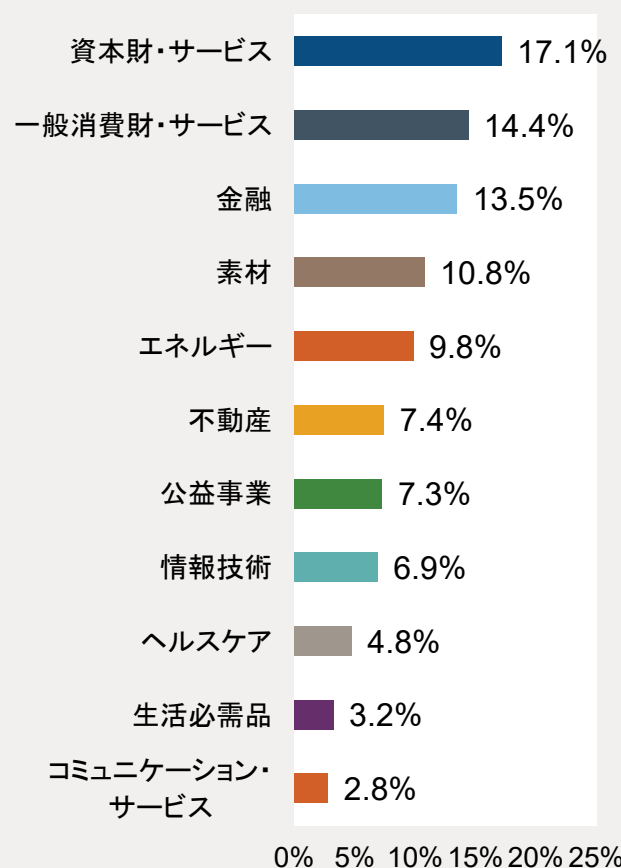
※掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはフィデリティの投資判断やファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

国・地域、業種配分とポートフォリオ特性

国・地域別配分(上位5カ国・地域)



業種別配分



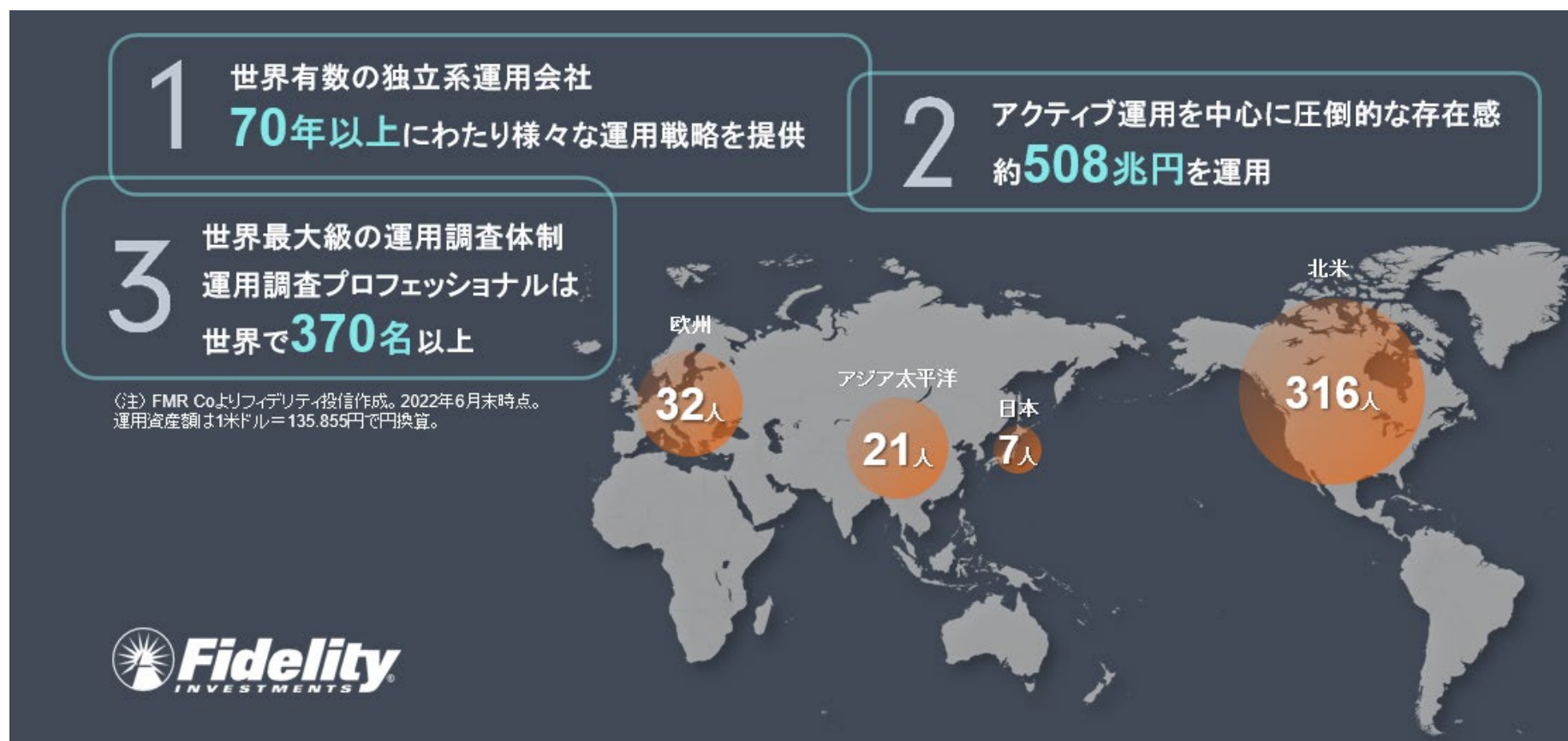
ポートフォリオ特性

	ファンド	世界株式指数
銘柄数	188	1,513
予想株価収益率(倍)	9.3	14.7
株価純資産倍率(倍)	2.1	2.7
一株当たり 予想利益成長率	28.0%	10.8%
1銘柄当たり 平均時価総額 (10億米ドル)	13.2	338.5

(注)フィデリティ投信作成。2022年6月末時点。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。

フィデリティ世界バリュー株式ファンドと フィデリティ・世界割安成長株投信の共通点と相違点

- 割安かつ利益が成長する銘柄に着目
- 世界最大級の運用調査体制によるボトムアップアプローチ
- 長期に渡る優れた実績



投資期間と投資スタイルの違い

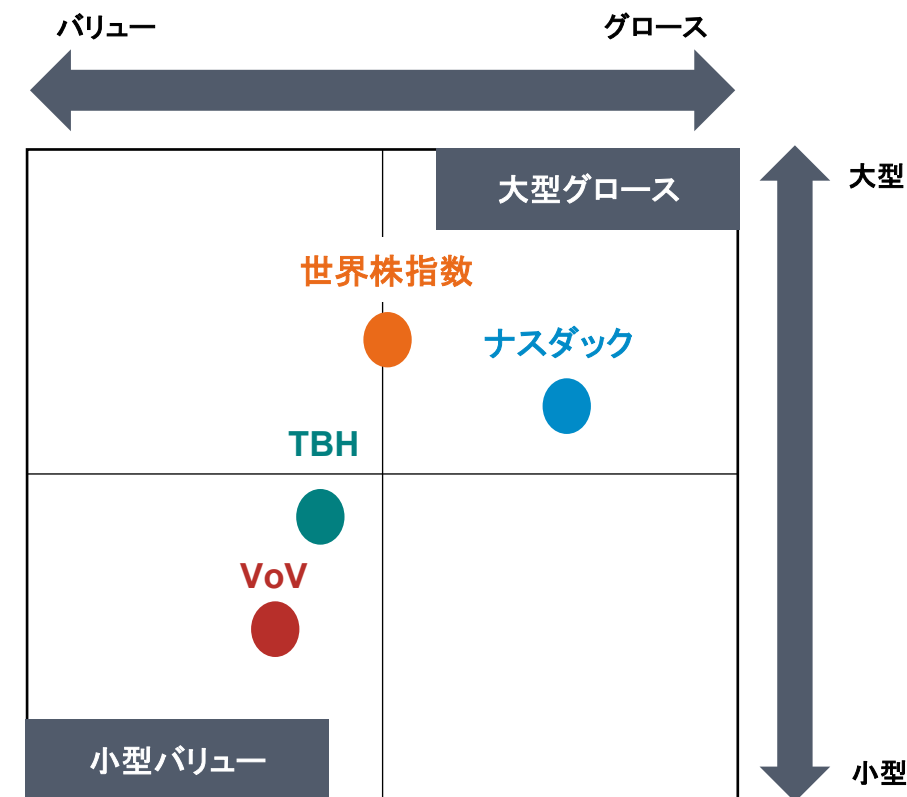
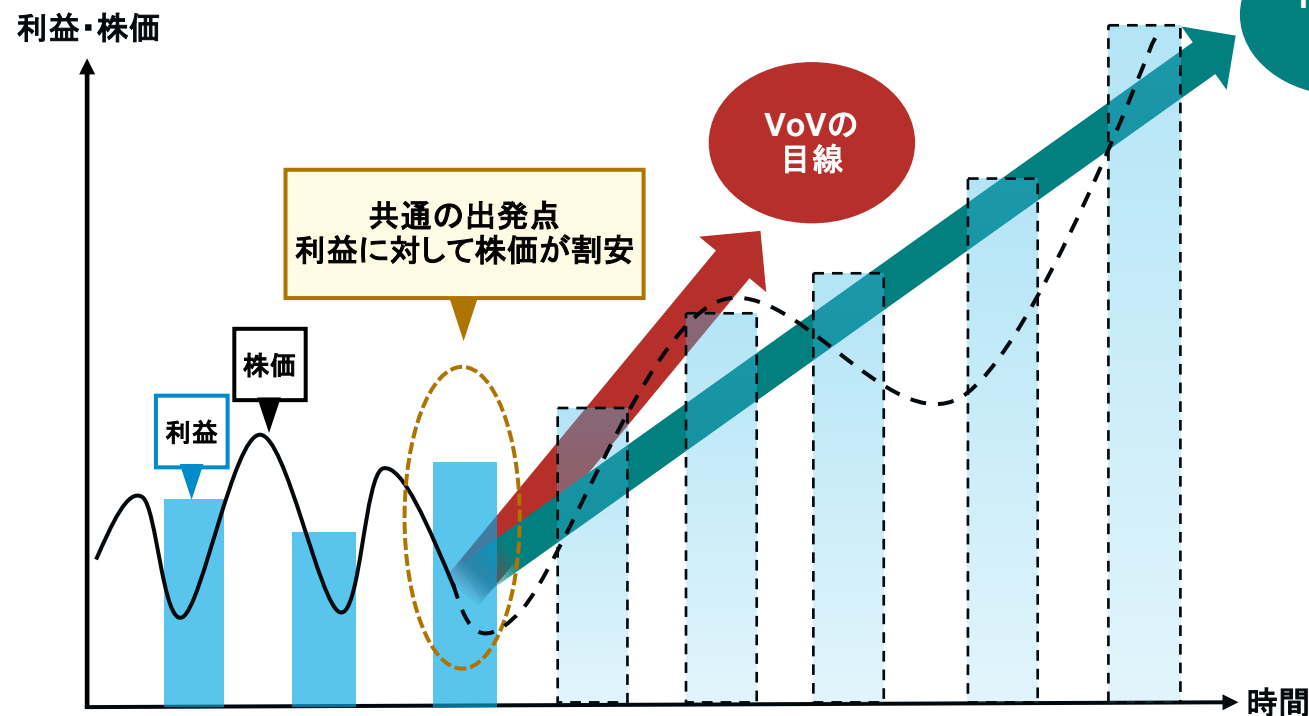
VoV

1年半～3年先の利益成長を見通し、
景気循環的な銘柄群も積極的に
組み入れ

TBH

景気サイクルを乗り越え、
3～5年先まで利益成長する銘柄に
着目

投資スタイルのイメージ



(注)フィデリティ投信作成。上記はイメージであり、実績ではありません。両ファンドについてご理解いただくためのご参考として掲載しています。
世界株指数はMSCIワールド、ナスダックはナスダック総合指数。

投資銘柄数と上位銘柄の違い

VoV

191 銘柄に分散投資
その内、131 銘柄（69%）は
世界株指数に含まれない

VoVの上位10銘柄

	銘柄名	業種	国・地域
1	アンテロ・リソーシズ	エネルギー	米国
2	キューブスマート	不動産	米国
3	エジソン・インターナショナル	公益事業	米国
4	AES	公益事業	米国
5	エンタジー	公益事業	米国
6	M&Tバンク	金融	米国
7	ヘス	エネルギー	米国
8	PG&E	公益事業	米国
9	トラベラーズ	金融	米国
10	アポロ・グローバル・マネジメント	金融	米国

TBH

430 銘柄に分散投資
その内、380 銘柄（88%）は
世界株指数に含まれない

TBHの上位10銘柄

	銘柄名	業種	国・地域
1	シグナ	ヘルスケア	米国
2	ウェルズ・ファーゴ	金融	米国
3	シーゲート・テクノロジー・ホールディングス	情報技術	アイルランド
4	ジェンパクト	情報技術	バミューダ(英領)
5	ユニバー・ソリューションズ	資本財・サービス	米国
6	LPLファイナンシャル・ホールディングス	金融	米国
7	エレバンスヘルス	ヘルスケア	米国
8	アムジェン	ヘルスケア	米国
9	ディスカバー・ファイナンシャル・サービスズ	金融	米国
10	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	米国

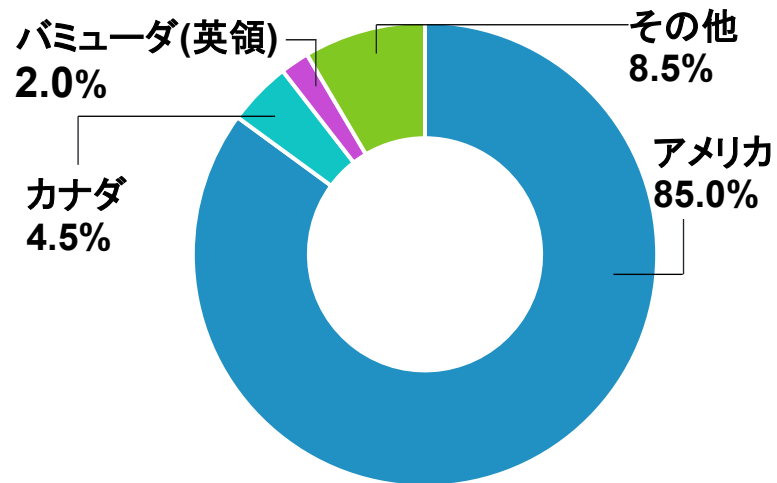
上位10銘柄に重複無し 共通して保有する銘柄の割合はわずか16%

(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。全て2022年8月末時点。マザーファンドベース。世界株指数はMSCIワールド。共通銘柄の割合は、どちらか少ない方のウエイトを合計して計算。ウエイトは対純資産総額で計算。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

国別・地域別配分の違い

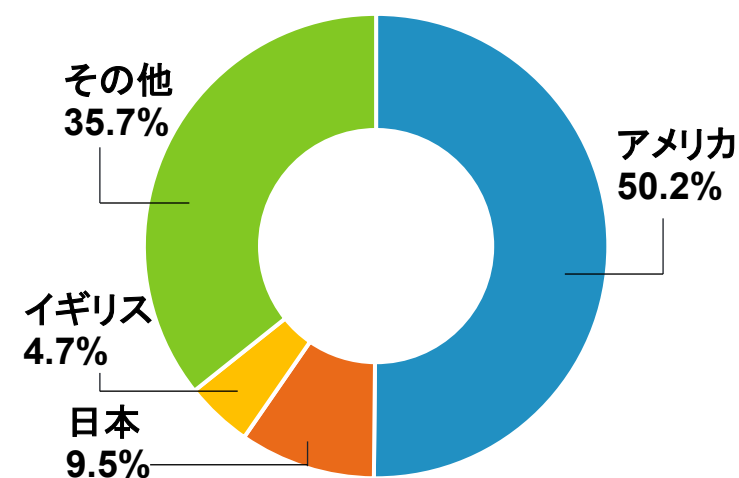
VoV

米国を中心に
中小型の割安成長株を発掘



TBH

世界から
中小型の割安成長株を発掘



2022年8月末時点の特性値

VoV

TBH

世界株指数

予想株価収益率(PER)

9.7倍

9.1倍

15.3倍

株価純資産倍率(PBR)

2.2倍

1.6倍

2.8倍

平均時価総額(10億米ドル)

13.3

23.9

374.7

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。2022年8月末時点。VoVは「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」、TBHは「フィデリティ・世界割安成長株投信マザーファンド」のデータを使用。予想株価収益率は12カ月先予想に基づく。世界株指数はMSCIワールド。

投資リスク・基準価額の変動要因

●投資信託は預貯金と異なります。●ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様には帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

「フィデリティ・世界バリュー株式ファンド」および「フィデリティ・世界割安成長株投信」の主な基準価額の変動要因としては、「価格変動リスク」「為替変動リスク」「エマージング市場に関わるリスク」などがあります。その他の留意点としては「クーリング・オフ」「流動性リスク」「デリバティブ（派生商品）に関する留意点」などがあります。くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

	フィデリティ世界バリュー株式ファンド A/B/C/Dコース	フィデリティ・世界割安成長株投信 A/B/C/Dコース
購入単位	100円以上1円単位＊または100口以上1口単位 ＊購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。＊ただしスイッチングの場合は、1口単位です。	
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額	
購入代金	原則として、購入申込日から起算して5営業日までに販売会社にお支払いください。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。	
信託期間	2021年8月10日(設定日)から2026年7月15日まで	原則として無期限
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	Aコース／Bコース：原則、毎年1月、7月の各15日。 Cコース／Dコース：原則、毎月15日。 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	Aコース／Bコース：原則、毎年2月20日。 Cコース／Dコース：原則、毎月20日。 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	Aコース/Bコースは年2回の決算時に、Cコース/Dコースは年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。	Aコース/Bコースは年1回の決算時に、Cコース/Dコースは年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。
信託金の限度額	Aコース、Bコース、CコースおよびDコースの合計で1兆5,000億円	AコースおよびBコースの合計で1兆円、CコースおよびDコースの合計で1兆円
スイッチング	各コース間でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます。	各コース間でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。	

	フィデリティ世界バリュー株式ファンド A/B/C/Dコース	フィデリティ・世界割安成長株投信 A/B/C/Dコース
--	----------------------------------	--------------------------------

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額に以下の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数		購入金額に以下の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数	
	購入金額	手数料率	購入金額	手数料率
	2千万円未満	3.30% (税抜3.0%)	2千万円未満	3.30% (税抜3.0%)
	2千万円以上5千万円未満	2.20% (税抜2.0%)	2千万円以上5千万円未満	2.20% (税抜2.0%)
	5千万円以上1億円未満	1.65% (税抜1.5%)	5千万円以上1億円未満	1.65% (税抜1.5%)
	1億円以上5億円未満	1.10% (税抜1.0%)	1億円以上5億円未満	1.10% (税抜1.0%)
	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)
信託財産留保額	ありません。		ありません。	
スイッチング手数料	ありません。		ありません。	

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年率1.65%(税抜1.50%)		ファンドの純資産総額に対し、左記の率 を乗じた額が運用管理費用(信託報酬) として毎日計上され、ファンドの基準価額 に反映されます。なお、ファンドの毎計算 期末または信託終了のときにファンドから 支払われます。	ファンドの純資産総額に対し、 年率1.65%(税抜1.50%)		ファンドの純資産総額に対し、左記の率を 乗じた額が運用管理費用(信託報酬)とし て毎日計上され、ファンドの基準価額に 反映されます。なお、ABコースはファンド の毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該 日が休業日の場合は翌営業日)及び毎 計算期末または信託終了のときにファンド から支払われます。CDコースはファンド の毎計算期末または信託終了のときに ファンドから支払われます。
	内 訳			内 訳		
	委託会社	年率0.814%(税抜0.74%)		委託会社	年率0.81125%(税抜0.7375%)	
	販売会社	年率0.814%(税抜0.74%)		販売会社	年率0.81125%(税抜0.7375%)	
	受託会社	年率0.022%(税抜0.02%)		受託会社	年率0.0275%(税抜0.025%)	
その他費用・手数料	組入有効証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。					
	・組入有効証券の売買委託手数料:有効証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料					
	・信託事務の諸費用等:投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用及び受託会社の立替えた立替金の利息					
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年1月及び7月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。			法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ABコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及びファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。CDコースは毎年2月及び8月に到来する計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。		
	・法定書類等の作成等に要する費用:有効証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷及び提出等に係る費用					
・監査費用:ファンドの監査人等に対する報酬及び費用						
※当該手数料・費用等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。						

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ世界バリュー株式ファンドAコース（年2回決算・為替ヘッジあり）/Bコース（年2回決算・為替ヘッジなし）/Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）/Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」「フィデリティ・世界割安成長株投信Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）」「フィデリティ・世界割安成長株投信Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）/Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（<https://www.fidelity.co.jp/>）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

SD221227-1 IM221229-1 CSIS230105-1